

まち活通信

vol.27

～みんなで実践するまちづくり活動情報～



- 住宅は再建できたけど外構はまだ手つかず…
- ガーデニングについてアドバイスがほしい…
- 集合住宅でも共同の花壇づくりを始めたい…

そんな悩みをお持ちのみなさん！

「緑のまち活」始めませんか？



「緑のまち活」とは、庭づくりや住みよいまち並み形成を、各々のできる範囲で学び、実践する活動です。第1弾として、カフェのような雰囲気できれいに意見交換し、専門家からアドバイスをいただける「緑のまちカフェ」を開催します。助成制度や庭づくりの事例紹介など、ためになる話が盛りだくさん。花や緑が好きな方なら、どなたでも参加できますよ！

緑のまちカフェ 第1回「お庭についてお話ししましょう」

- ◆日時 1月21日(土)午後1時～3時
- ◆場所 女川フューチャーセンターCamass(カマス)
- ◆持参物 特になし
- ◆参加費 無料
- ◆申込方法 問合せ先(19面下)に、①お名前と②電話番号をお知らせください。電話・メールどちらでも構いません。

※託児が必要な方は、参加日の1週間前までにお申し込みください。
 ※詳細は、広報おながわ1月号に同封のチラシをご覧ください。
 ※第2回(2月中旬予定)では、ガーデニングデザインの実践講座、
 第3回(3月上旬予定)では、先進的なまち並みの日帰り視察を予定しています。



素敵なプレゼントもご用意♪

使い方いろいろ！フューチャーセンター Camass ♪

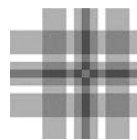
1月に「緑のまちカフェ」を開催するフューチャーセンターカマスは、「つどい、かたり、つくる」をテーマにNPO法人アスヘノキボウが運営する交流施設です。

この施設は、活動の用途によってさまざまな使い方ができます。例えば、一番広いワークスペースは、プロジェクターや音響設備も完備し、活動の発表会などにも最適で、まちの未来を考えるフューチャーセッションも定期的で開催されています。また、トレーラーハウスでは子どもを遊ばせながらママ同士で手芸教室やミーティングをしたり、こたつの天板がホワイトボードになった部屋では、こたつで温まりながらワークショップもできてしまいます。

今回の「緑のまちカフェ」は開放的な広いスペースで、ゆったりと交流やお話しができる時間にしたいと思います。

●スタッフから一言

「町民の方、町外の方に関わらず、話をしたい、イベントをしたい方は気軽に使ってくださいね！お待ちしております♪」



◆スタッフのみなさん



行ってみたいと思う出島となるために…

これまでの取り組みや想いを受けて「島まちづくり」が進行中

事務局では、出島地区の女性団体「なでしこの会」のみなさんのご紹介で、これまで出島に魅せられ、関わりを持たれたお二人にお話を伺うことができました。

今後は島のみなさんと寄り添いつつ、お二人にもお力をいただきながら、高齢化や人口減少に負けない、活力ある浜の地域づくりのモデルとなるよう「島まちづくり」を本格化していきます。



NPO法人アスヘノキボウ
ごとう たいき
後藤 大輝さん

平成28年6月と8月に「まだ気づかれていない美しい自然を体験してほしい」と、東北大学の学生さんが出島地区の番屋で1泊し、島の暮らしが体験できるサマーキャンプを開催した後藤大輝さん。東京育ちの現役大学生で、大学では国際交流を学んでいます。

出島では、実際に養殖を体験したり、取れたての魚介類やバーベキューを食べたりする中で、島の方々とふれあいました。「星空は自然のプラネタリウムですよ。ストーンサークルもあります。何もない島と思われがちですが、温かな人と自然がいっぱいですよ」と出島に魅力を感じています。

現在、後藤さんは女川町に移住し、週に1度、関東の大学に通いながら、NPO法人アスヘノキボウの職員としても活動しています。「若者に女川を知ってほしい」、「女川を知るきっかけにしたい」と、まちづくりに積極的に取り組む姿はとも頼もしく感じますね。



一般社団法人対話工房
かいこ きいち
海子 揮一さん

「ゆっくりでも少しずつ、関わった人々の手の跡が残るようなものづくりと対話を通して、震災後の世界で“つくる”ことの意味を共に一歩一歩築いていきたい」と話す対話工房の海子揮一さん。

平成26年6月に、出島の寺間地区で漁師さんと海水を煮詰めて、かつて島の特産だった「塩づくり」を体験し、火を囲んで語らいながら、浜の呼称を図面に落としした地図を作成しました。

平成27年には、出島のストーンサークルから夏至の太陽が石投山の頂上に沈むことを確認し、古代の人々が感じたであろう時間と風景を、いろいろな方々に想像力を膨らませながら味わってもらいたいそうです。

「おちゃっこクラブ」の立ち上げや、「女川常夜灯送り火・迎え火プロジェクト」(毎年8月に開催)を通して、女川の復興まちづくりを共に歩んでいます。

山形県の飛島から小川ひかりさんがやってきます！

山形県の酒田沖に浮かぶ離島「飛島」で島まちづくりを進める「合同会社とびしま」から“とびしまコンシェルジュ”小川ひかりさんをお迎えします。

過疎化が進む中、島の未来を見つめながら、島に新たな活力を与えている方です。小川さんのお話を聞いてみたい方は、1月19日(木)午後1時から出島地区集会所でのお茶っこに参加してみませんか？ また、同日の夕方からは中心部でも交流の場を設けます。詳しくは、まち活Facebookでお知らせします。



あなたの活動をみなさんに紹介しませんか？

まち活通信やSNSを通じて、町内のまちづくりの活動を発信しています。
下記の間合せ先までご連絡をお待ちしています。

◆問合せ先 女川町まちづくり推進協議会事務局(役場復興推進課復興調整係)
☎54-3131内線291 メールアドレス：fukko7@town.onagawa.miyagi.jp

○まち活フェイスブック @onagawatown で検索

○まち活LINE@ LINEアプリの友達追加画面で @onagawatown をID検索

